



2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社パルマ
 コード番号 3461 URL <http://www.palma.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 茂久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 清水 誠一

TEL 03-3234-0358

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	1,175	43.6	73	26.8	67	26.9	44	26.1
2020年9月期第1四半期	819	294.4	57	347.4	52	421.5	35	507.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	7.22	6.63
2020年9月期第1四半期	5.73	5.27

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	4,599	2,128	46.3
2020年9月期	5,177	2,120	40.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 2,127百万円 2020年9月期 2,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		8.00	8.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		0.00		9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	4,400	3.2	355	10.2	325	4.4	225	5.0	35.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	6,404,840 株	2020年9月期	6,214,000 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	275 株	2020年9月期	275 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	6,222,257 株	2020年9月期1Q	6,209,392 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期会計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が残るなか、段階的な経済活動の再開や各種政策の効果等により持ち直しの動きも見られましたが、当該ウィルス感染者が再拡大するなど、その収束は未だ見えておらず、依然として厳しい状況のなかで推移しております。

セルフストレージ業界は、サービス認知の高まりやテレワークの浸透による居住環境の変化、オフィスのダウンサイジングに伴う荷物保管ニーズの顕在化が進み、利用需要は堅調に推移しております。

このような事業環境のなか、当社は状況に応じた対策を講じながら、アウトソーシングサービス体制の継続的な整備・強化、セルフストレージ施設の開発投資、運用施設の稼働率向上に向けた集客施策を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は1,175,882千円（前年同四半期比43.6%増）となりました。損益面では、営業利益は73,300千円（同26.8%増）、経常利益は67,086千円（同26.9%増）、四半期純利益は44,896千円（同26.1%増）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期会計期間より、従来の単一セグメントから、「ビジネスソリューションサービス」と「ターンキーソリューションサービス」セグメントに、区分を変更しております。以下の前年同四半期比については、前年同四半期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

【旧セグメント】

	サービス内容
セルフストレージ ビジネスソリューションプロバイダ 事業	ビジネスソリューションサービス
	ITソリューションサービス
	ターンキーソリューションサービス



【新セグメント】

セグメント名	サービス内容
ビジネスソリューションサービス	ビジネスソリューションサービス
	ITソリューションサービス
ターンキーソリューションサービス	ターンキーソリューションサービス

(ビジネスソリューションサービス)

当サービスはセルフストレージ事業者向けに賃料債務保証を付加したアウトソーシングサービスやセルフストレージ運営効率化のためのITシステム開発・運用を行っております。

当第1四半期累計期間におきましては、当社開発の施設も含めたセルフストレージ利用者の増加などを背景に、アウトソーシングサービス受託件数やWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入が伸長しております。

以上の結果、売上高は236,543千円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益は89,290千円（同21.9%増）となりました。

(ターンキーソリューションサービス)

当サービスは、各種投資家やセルフストレージ事業者等向けにセルフストレージ物件の開発・販売を行っております。当第1四半期累計期間におきましては、セルフストレージ施設開発事業量の拡大を本格的に再開し、「大田区南馬込」など4物件の開発用地の新規仕入を進めました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、「キーピットあざみ野」等の売却や当社開発施設等約5,500室の施設運用により、売上高は939,338千円（前年同四半期比55.4%増）、営業利益は38,272千円（同4.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

流動資産は、前事業年度末と比べて580,970千円減少し、4,368,543千円となりました。これは主にセルフストレージ施設の用地取得・開発を推進したことにより、仕掛販売用不動産が265,471千円増加した一方で、売却により販売用不動産が762,802千円及び法人税等の納税等により現金及び預金が97,752千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて2,894千円増加し、230,703千円となりました。これは主に建物が1,225千円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて578,075千円減少し、4,599,246千円となりました。

②負債の部

流動負債は、前事業年度末と比べて571,852千円減少し、1,389,547千円となりました。これは主に短期借入金が119,364千円、1年内返済予定の長期借入金が239,713千円、未払法人税等が87,104千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて13,678千円減少し、1,081,246千円となりました。これは長期借入金が13,678千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて585,530千円減少し、2,470,793千円となりました。

③純資産の部

純資産合計は、前事業年度末と比べて7,454千円増加し、2,128,453千円となりました。これは主に、配当金の支払49,709千円、及び四半期純利益44,896千円を計上したことによるものであります。

なお、自己資本比率につきましては前事業年度末より5.4ポイント増加し46.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の通期業績予想につきましては、変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,307,301	3,209,548
金銭の信託	1,350	1,350
売掛金	71,591	79,413
求償債権	238,664	256,698
販売用不動産	1,098,163	335,360
仕掛販売用不動産	299,737	565,208
その他	62,420	61,547
貸倒引当金	△129,713	△140,583
流動資産合計	4,949,514	4,368,543
固定資産		
有形固定資産	49,453	49,591
無形固定資産	32,056	29,806
投資その他の資産	146,298	151,305
固定資産合計	227,808	230,703
資産合計	5,177,322	4,599,246
負債の部		
流動負債		
短期借入金	751,300	631,935
1年内返済予定の長期借入金	707,107	467,394
未払法人税等	103,340	16,236
前受収益	113,695	116,911
その他	285,956	157,070
流動負債合計	1,961,399	1,389,547
固定負債		
長期借入金	1,094,924	1,081,246
固定負債合計	1,094,924	1,081,246
負債合計	3,056,323	2,470,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	582,700	588,835
資本剰余金	493,150	499,284
利益剰余金	1,044,312	1,039,499
自己株式	△132	△132
株主資本合計	2,120,029	2,127,485
新株予約権	969	968
純資産合計	2,120,999	2,128,453
負債純資産合計	5,177,322	4,599,246

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	819,001	1,175,882
売上原価	583,641	883,708
売上総利益	235,360	292,174
販売費及び一般管理費	177,569	218,873
営業利益	57,790	73,300
営業外収益		
受取利息	3	1
その他	19	256
営業外収益合計	22	257
営業外費用		
支払利息	4,942	6,471
営業外費用合計	4,942	6,471
経常利益	52,871	67,086
税引前四半期純利益	52,871	67,086
法人税、住民税及び事業税	10,540	13,298
法人税等調整額	6,722	8,891
法人税等合計	17,262	22,190
四半期純利益	35,608	44,896

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
外部顧客への売上高	214,456	604,544	819,001	—	819,001
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	214,456	604,544	819,001	—	819,001
セグメント利益	73,254	40,013	113,268	△55,477	57,790

(注) 1. セグメント利益の調整額△55,477千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
外部顧客への売上高	236,543	939,338	1,175,882	—	1,175,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	236,543	939,338	1,175,882	—	1,175,882
セグメント利益	89,290	38,272	127,562	△54,261	73,300

(注) 1. セグメント利益の調整額△54,261千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より、経営管理区分の見直しに伴い、ビジネスモデルの特性や類似性・関連性に基づき、報告セグメントを従来の「セルフストレージサービスプロバイダー」の単一セグメントから、「ビジネスソリューションサービス」及び「ターンキーソリューションサービス」の2区分を報告セグメントとしております。なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

変更後の報告セグメントに属するサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	サービス名称	事業内容
ビジネスソリューションサービス	ビジネスソリューションサービス	セルフストレージ賃料債務保証付 BPO (セルフストレージ 事業者向け貸出時の審査・滞納督促管理・入金管理・申込 受付コールセンター等) サービスを提供
	ITソリューションサービス	セルフストレージオンライン予約決済在庫管理システムや 予約決済・施設検索サイトなどの提供
ターンキーソリューションサービス	ターンキーソリューションサービス	セルフストレージ施設の開発販売・運用

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。